

文化のみち二葉館 開館 19 周年

ふたばの日

令和6年2月8日(木)は◆終日入館料無料◆10:00～17:00

入館者プレゼント!

2月8日 先着100名様に
記念品を進呈

◆2/8(木) 10:00～

※混雑緩和のため、入館人数を
区切って順にお入り
いただきます

大正エレガント – 浪漫の薫りあふれる館 –
ステンドグラスから色とりどりの光がこぼれます。
文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】は
2005年に開館してから19周年を迎えます。
開館日の2月8日が施設愛称の
「二葉」と語呂が合うことから毎年この日を
開館記念日「ふたばの日」として様々な催しを
ご用意して皆様をお迎えしております。
ぜひこの機会にご来館ください。

新寄贈 お披露目

楠木正成像・児島高德像

◆2/8(木) 11:00～ ◆会場:中庭

川上貞奴と福沢桃介展

貞奴と桃介をエピソードとともに紹介

◆2/8(木)～2/15(木) ◆会場:2階 和室

川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形とお琴の展示

◆2/8(木)～2/15(木) ◆会場:1階 展示室

川上貞奴の手描き雛の羽織

貞奴が描いた立雛をあしらった羽織の展示

◆2/8(木)～2/15(木) ◆会場:1階 展示室

郷土ゆかりの文学展

「辻真先ワンダーランド」

ミステリ作家・アニメ脚本家である氏の作品や直筆資料などを紹介

◆2/4(日)～3/10(日) ◆会場:2階 展示室

トークイベント

第一部「辻真先×アニメ×脚本」

映像解説:辻真先(作家・脚本家)

第二部「辻真先×ミステリ×名古屋」

対談:辻真先(作家・脚本家)、太田忠司(作家)

◆2/17(土) 第一部13:00～14:15、第二部14:30～15:30

◆会場:1階大広間 ※当日先着自由席

写真でたどる「川上貞奴」Part 2

語り:文化のみち二葉館 館長 緒方綾子

◆2/8(木) 14:00～15:00

会場:1階 大広間



文化のみち樟木館も2月8日(木)は 終日入館料無料

◆2/8(木) 先着100名様に
樟木館オリジナルグッズを進呈



日本の戯曲研修セミナー in 東海 2023

特集 川上貞奴

浄瑠璃版「滝の白糸」

出演:常磐津綱鵬、LONTO、古家暖華

浄瑠璃台本・演出:木村繁

◆2/9(金) 15:30～

2/10(土) 11:00～、14:00～

◆会場:1階 大広間 ※当日先着自由席

パネルディスカッション

ゲストパネリスト:ふじたあさや(劇作家、演出家)

◆2/10(土) 15:00～

◆会場:1階 大広間 ※当日先着自由席

主催:一般社団法人日本演出者協会
共催:文化のみち二葉館

催事の詳細は
中面をご覧ください

主催:文化のみち二葉館 協力:川上家、成田山貞照寺、文化のみち
樟木館、東区文化のみちガイドボランティアの会、一般社団法人日本
演出者協会、福よせ雛プロジェクト、古製美術工房、画家・柳瀬辰久、
山田久仁夫、名古屋市鶴舞中央図書館、愛知県図書館、愛知県立明和
高等学校(順不同 敬称略)

文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】

新寄贈 お披露目 楠木正成像・児島高德像

◆ 2/8 (木) 11:00 ~ ◆ 会場: 中庭 ※館内よりご見学いただけます。

かつて貞奴が暮らした二葉御殿に飾られていた銅像2体を川上家よりご寄贈いただきました。開館記念日にみなさまへご披露いたします。

川上貞奴と福沢桃介展

貞奴と桃介をエピソードと共に紹介します。

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 2階 和室



写真でたどる「川上貞奴」Part 2

現在に遺る貞奴の写真を見ながら、その足跡をたどります。

◆ 2/8 (木) 14:00 ~ 15:00
◆ 語り: 文化のみち二葉館 館長 緒方綾子
◆ 会場: 1階 大広間



川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形とお琴の展示

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 1階 展示室

川上貞奴の手描き雛の羽織

貞奴が描いた立雛をあしらった羽織の展示

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 1階 展示室



日本の戯曲研修セミナー in 東海 2023

特集 川上貞奴

主催: 一般社団法人日本演出者協会
共催: 文化のみち二葉館

浄瑠璃版「滝の白糸」

明治28年、川上一座が、泉鏡花の小説「義血侠血」を脚色して初演。以後新派、歌舞伎、講談、浪曲、映画で上演。今回は浄瑠璃語り+マイム+人形で書下ろし披露します。

◆ 出演: 常磐津綱鵬、LONTO、古家暖華
◆ 浄瑠璃台本・演出: 木村繁
◆ 美術監督: 福永朝子 ◆ 舞台監督: Chang
◆ 2/9 (金) 15:30 ~
2/10 (土) 11:00 ~、14:00 ~
◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

パネルディスカッション

ゲストパネリスト: ふじたあさや

◆ 2/10 (土) 15:00 ~
◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

◆ ふじたあさや ◆
劇作家・演出家。1934年東京生まれ。早稲田大学文学部演劇専修中退。元昭和音楽大学ミュージカルコース教授。代表作に『日本の教育1960』『さんしょう太夫(斉田戯曲賞受賞)』『しのだづま考(芸術祭賞受賞)』『サンダカン八番娼館(脚色)』『ベッカンコおに(脚色)』『臨界幻想』ミュージカル『ねこはしる』等、代表演出作品に『うたよみざる』『羽衣』『12人の怒れる男』『杜子春伝』等、伝統から現代、対話劇からミュージカル、記録的演劇から児童劇と作風は多岐にわたる。日本演出者協会理事の他、(社)日本劇団協議会、日本劇作家協会、(社)日本芸能実演家団体協議会、日本児童青少年演劇劇団協同組合、アシテジ(世界児童青少年舞台芸術協会)世界理事、NPO法人KAWASAKIアーツ理事長等、業界団体役員を歴任。川崎市文化賞受賞。

※日本の戯曲研修セミナーは、芸術創造センターでも開催いたします。開催期間2/1(木)~10(土)

郷土ゆかりの文学展

「辻真先ワンダーランド」

◆ トークイベント ◆ 第一部「辻真先×アニメ×脚本」

過去の番組映像を上映し、脚本執筆当時の思い出などをお話いただきます。

第二部「辻真先×ミステリ×名古屋」

辻真先作品を中心としたミステリ談義や、作品に登場する昭和の名古屋の様子などをご対談いただきます。

◆ 対談: 辻真先(作家・脚本家)、太田忠司(作家)
◆ 2/17 (土)
第一部 13:00 ~ 14:15 第二部 14:30 ~ 15:30
◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

ミステリ作家・アニメ脚本家である氏の書籍作品や貴重な脚本資料、直筆資料などを展示紹介します。

◆ 2/4 (日) ~ 3/10 (日) ◆ 会場: 2階 展示室



◆ 辻真先 ◆
(つじまさき)
1932年、名古屋生まれ、名古屋文学部卒。
NHKで番組制作や演出に携わる。退職後は「鉄腕アトム」など多くのアニメ脚本を執筆し、文筆の場を中心に活躍する。1981年『アリスの国の殺人』で第35回日本推理作家協会賞受賞。2019年、第23回日本ミステリー文学大賞受賞。



◆ 太田忠司 ◆
(おおただだし)
1959年、名古屋生まれ、名古屋工業大学文学部卒。
学電工学部卒。1981年、星新一ショートショートコンテストで「帰郷」が優秀作に選ばれる。1990年、長編ミステリ『僕の殺人』で本格デビュー。2022年、『麻倉玲一は信賴できない語り手』が第8回徳間文庫大賞を受賞。

◆文化のみち二葉館 施設案内◆

文化のみち二葉館は建物が2000年に名古屋市へ寄付されてから5年の歳月を経て文化のみち(名古屋城～徳川園・東西約3km)の拠点施設として、東区榑木町に移築復元されました。「文化のみち二葉館」という愛称には、旧川上貞奴邸がかつて東二葉町にあり、「二葉御殿」という名で親しまれていたこと、また、新しい芽のふたばのように文化のみちが成長していくという期待が込められています。

大正9年に創建された「二葉御殿」は、日本の女優第一号と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が約5年間暮らしていました。館内では、貞奴・桃介の紹介とともに調度品などの資料を展示しており、当時の様子をご覧ください。

川上貞奴

明治4(1871)年生まれ。16歳で芸者となり、23歳で書生演劇の川上音二郎と結婚。川上一座のアメリカ巡業で、女優として初めて舞台に立つ。ヨーロッパに渡り、明治33(1900)年のパリ万博でマダム貞奴の名は、一躍有名になる。音二郎の死後、福沢桃介の事業パートナーとして、また自らも事業家として、「二葉御殿」で暮らした。

福沢桃介

明治元年(1868)生まれ。福沢諭吉の次女ふさの婿。名古屋電灯(株)の取締役となった頃から電力事業に乗り出し、大同電力(株)を設立。名古屋を拠点として、木曾川水系に大井発電所をはじめ7カ所の発電所を建設。電力王といわれた。

文化のみち二葉館 大広間

政財界の人物が集まりサロンとして使われていた大広間は、二カ所のステンドグラスからこぼれる光が華やかさを演出します。二階へと続く螺旋階段もひととき優雅に広間を引き立てます。パネルやビデオで建物の歴史や文化のみちの町並みを紹介するとともに、企画催事などを開催して様々な文化を発信しています。

展示室(1階)

貞奴・桃介の生涯を紹介するパネルとあわせて、主に女優として活躍していた頃の資料とともに、二葉御殿を拠点に進められた木曾川の7カ所の発電所を紹介しています。

郷土ゆかりの文学資料展示室(2階)

近代文学の祖こと、坪内逍遙をはじめ、城山三郎(直木賞)、小谷剛(芥川賞)、江夏美好(田村俊子賞)、春日井建(逗空賞)など名古屋を中心とする郷土ゆかりの文学者および文学作品を、資料やパネルで紹介しています。また、当地において盛んに展開されてきた同人誌活動を振り返ります。書籍の一部は本棚に配架しており、手にとって自由に閲覧いただけます。

※各展示室とも企画展開催時は展示替えします。

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地

TEL / FAX 052-936-3836

URL <https://www.futabakan.jp/>

開館時間 / 午前10時～午後5時

休館日 / 月曜日(祝日の場合はその翌日)



交通のご案内

●なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車 ●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分 ●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分 ●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分 ●基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分

*駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ドニチエコきっぷ 一日乗車券・24時間券を
文化のみち二葉館
入館料割引!

一般 200円 ▶160円